

## 令和3年度第2回宇都宮市民大学運営協議会

日 時 令和3年8月5日(木)  
午前10時30分～11時30分  
会 場 人材かがやきセンター研修室  
(中央生涯学習センター5階)

### 次 第

1 開 会

2 挨拶

3 議 題

(1) 報告事項

① 令和3年度宇都宮市民大学前期講座の実施状況について・・・資料1

② 令和3年度宇都宮市民大学後期講座の実施について・・・資料2

(2) 協議事項

① 令和3年度宇都宮市民大学公開講座について・・・資料3

② 令和4年度宇都宮市民大学の実施について・・・資料4

4 その他

5 閉 会

## 宇都宮市民大学運営協議会委員名簿

任期：宇都宮市民大学運営協議会運営要領第4条の規定による期間  
(令和2年9月1日～令和4年8月31日)

令和3年7月7日現在

No.	氏名	所属団体等役職
1	柴田 慎司 <small>しばた しんじ</small>	帝京大学 宇都宮キャンパス
2	江田 壮一 <small>えだ そういち</small>	宇都宮短期大学 事務局長
○ 3	丸山 純一 <small>まるやま じゅんいち</small>	宇都宮市民大学講座企画運営選考委員 文星芸術大学 副学長
◎ 4	島田 繁雄 <small>しまだ しげお</small>	宇都宮メディア・アーツ専門学校 校長
5	川島 育郎 <small>かわしま やすお</small>	株式会社栃木放送 報道制作局長
6	阿部 ゆり <small>あべ</small>	株式会社下野新聞社 編集局総務部長
◇ 7	野中 正知 <small>のなか まさとも</small>	公益財団法人 とちぎ未来づくり財団 事務局長
◇ 8	赤羽 幸雄 <small>あかばね ゆきお</small>	とちぎボランティアNPOセンターぽ・ぽ・ら センター長
9	細川 みち子 <small>ほそかわ</small>	宇都宮市生涯学習センター運営審議会 委員 【新委員】
10	大山 眞一 <small>おおやま しんいち</small>	宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ

◎ 会長      ○ 副会長      ◇ 監事

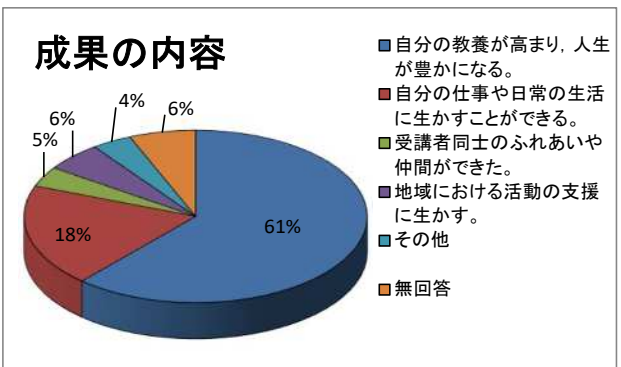
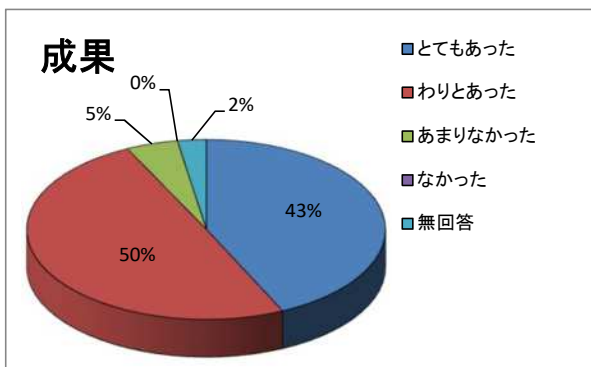
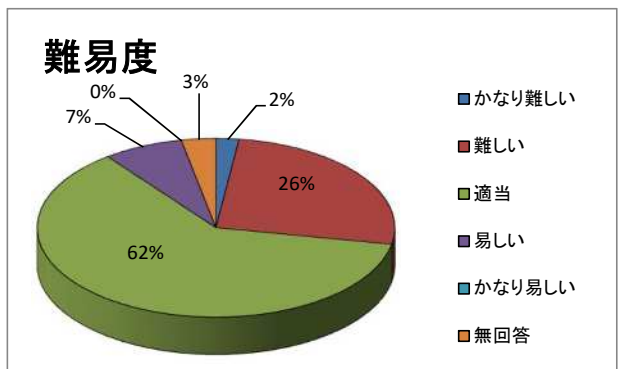
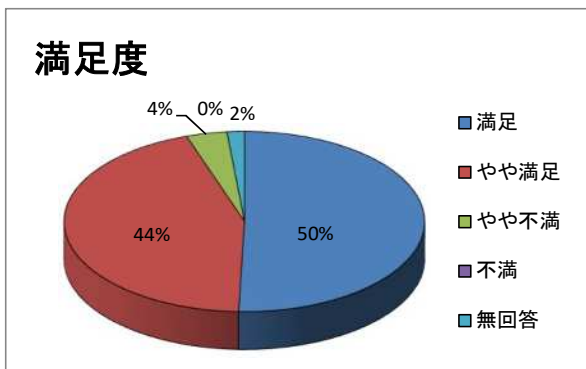
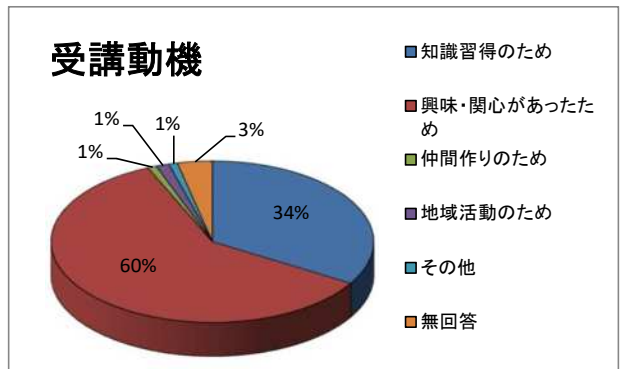
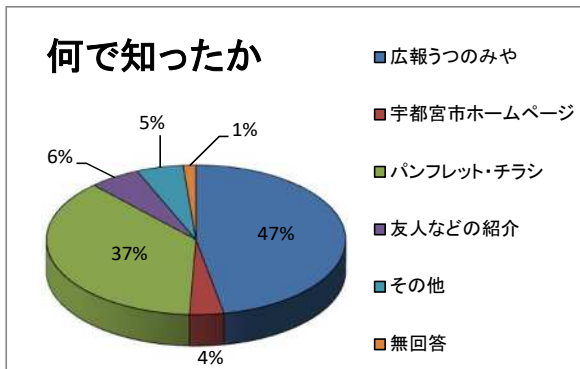
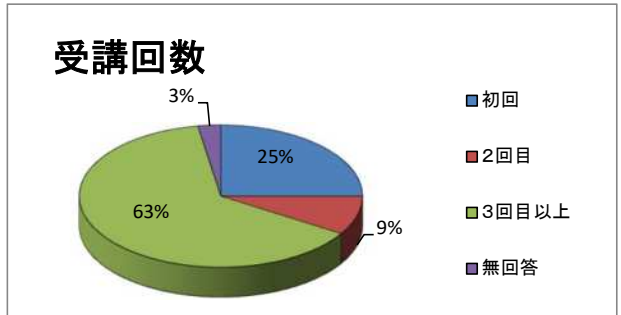
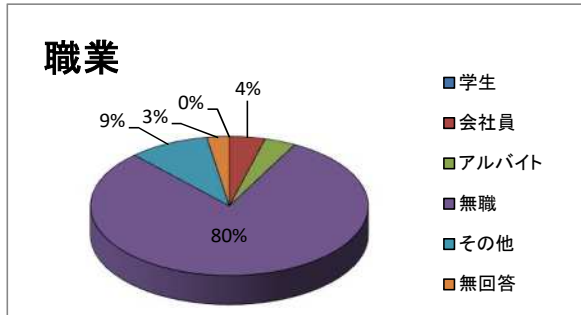
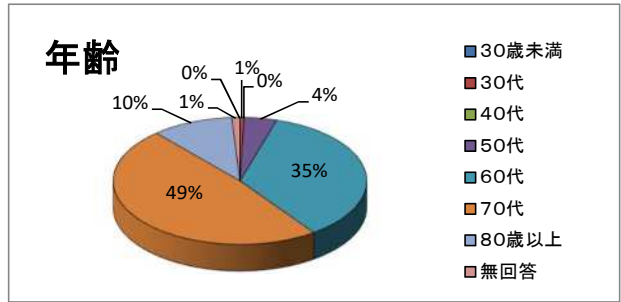
令和3年度宇都宮市民大学前期講座の実施状況について

コース	講座名 (開講数)	講師	開催期間	(募集定員) [応募者数] 受講者数	修了者数 (修了率)	講座の評価	(参考)受講者の感想・意見
I	【R2前期】 名城に名将有り！下野の古城 ～館から城郭へ、中世城の役割～  (全8回)	宇都宮短期大学 人間福祉学科 教授 江田 郁夫 小山市教育委員会文化振興課 課長 佐久間 弘行 栃木県立博物館 学芸員 山本 亨志 栃木県立文書館 古文書管理官 荒川 善夫 大田原市黒羽芭蕉の館 学芸員 新井 敦史 宇都宮市教育委員会事務局文化課 主幹 今平 利幸 (第7回：宇都宮市文化財ボランティア協議会)	5/24～ 7/12	(30) [112] 52	49 (94.2%)	初回は下野中世の全体像を名城から謎解き、2回目から各地域毎の名城や名将に関する講義を史実に基づき展開する内容となった。後半3回は中世宇都宮氏の栄枯盛衰や周辺地域との関係などに焦点を当て、宇都宮城が館から城へ変遷する過程に講義を進めた。7回目には詳しい解説とともに宇都宮城址公園を見学し、より深い学びを得ることができた。受講生からは今回の資料を友人に回覧しともに学ぶことを楽しみにしているとの声をいただき、地域での学びへの発展を期待できると感じた。	・県内に重要な役割をした城があることがよく分かり、いくつになっても学ぶことが幸せであると感じた。 ・名城と名将の詳しい説明でより理解を深めることができた。 ・一般的な城のイメージと違う館的な城について学ぶことができ大変勉強になった。 ・現在9.5歳で理解するのは少々難しく思ったが、資料は大切に時折読み返している。 ・城の機能などもっと詳しく教えてほしかった。
II	栃木県のはやり病・伝染病・感染症 ～近世末から近現代の感染症を振り返る～  (全7回)	栃木県医師会70年史編纂委員会顧問 大嶽 浩良 氏家町史料編「渡辺清絵日記」編纂担当 中野 英男 医師 戸村 光宏 医師 岡 一雄	5/20～ 7/1	(30) [23] 22	16 (72.7%)	幕末から昭和までの感染症について、翻弄された民衆と感染を防ぐために奮闘した医療者の様子を、遺された古文書を基に詳細に解説された。治療法も確立されない時代の「はやり病」の発生した地域の分断や、過酷さのあまり神仏にすがる様子も語られた。矢板村の開業医が遺した医療日誌はその様子がつぶさに記され、現在国立国会図書館に所蔵され貴重な資料となっているおり、資料を残す重要さも学んだ。「渡辺清絵日記」では、一農民が感染症禍のありのままの日常が綴られた内容に感動し、さらに勉強を深めたいとの声が寄せられた。	・昔の貴重な資料が見られ興味深い。 ・世界中がコロナに振り回されている現代に参考になった。 ・長い歴史の中で様々な感染症と戦ってきたことが身近に感じられた。 ・感染症の歴史があったことに驚くとともに、そのために日々研究し活躍された人がいたことに感動した。 ・記録を残しておくことは大切なことだと思った。 ・大正時代のスペイン風邪と今のコロナ禍の人々の対策や気持ちが共通していることがわかった。
II	これからの長寿・共生・循環型の社会を 生きるために  (全6回) 【宇都宮共和大学連携講座】	宇都宮共和大学 シティライフ学部 特任教授 内藤 英二 特任教授 古池 弘隆 教授 和田 佐英子 子ども生活学部 教授 桂木 奈巳 准教授 今村 麻子 准教授 星 順子	6/3～ 7/8	(30) [16] 15	14 (93.3%)	宇都宮共和大学連携講座として、これからの時代をより良く生きるため、今回は特に「長寿」「共生」「循環型社会」について取り上げた。第1回では、長寿社会を支える社会福祉政策とそれらの課題について学び、第2回につなげた。この回では、人生後半のマルチステージに向けてキャリアを重ね発展させることの重要性を学んだ。また、第5回と第6回目では、循環型社会の構築のため、3Rを超えた「サーキュラーエコノミー」の仕組みを知り、豊かな自然を次世代につなぐ環境教育・環境学習の重要性を学ぶことができた。	・講義内容が多様であったが、各問題について再認識できた。 ・各講座ともよく理解できた。 ・毎回テーマが違っているのでも、2回程度続けてほしい。 ・今後の生きる参考になる内容だった。 ・子どもと自然環境を結びつけて学ばせることは大変面白い。 ・これらの課題をより多くの市民と共有することが大切である。
III	【R2前期】 信長・秀吉・家康 ～戦国三大カリスマの知られざる実像～  (全7回)	共立女子大学 文芸学部 教授 堀 新 専修大学 文学部 非常勤講師 毛利 豊史 東京都立大学 大学教育センター 特任助教 堀 智博	5/31～ 7/12	(30) [80] 49	46 (93.9%)	日本人ならだれでも知っていると言っても過言ではない3人の武将を様々な角度から、それぞれの専門家が、現存する様々な資料を基に紐解いていく講義であった。全7回の講座を3人の講師がそれぞれ1回から3回にわたり、リレー形式で時代の流れとともに展開させていったため、受講生もいつの間にか、その時代へと引き込まれていったようだ。講義は配布資料(一部カラー)とプロジェクターによる映像を使用した。カラー印刷による資料は分かりやすく効果的であった。	・3者の考えや性格というものを知ることができた感じがある。今後、更なる詳細な内容を知りたい。 ・大学の先生の講座を地元で受けることができ大変勉強になった。 ・堀智博さんのお話はとても理解できて良かった。 ・上に立つ者は何かにつけて豊富な内面を持つことが必要であり、信頼がそこに生まれるものであり、自治会の活動にあっても言えることであろう。
III	【R2前期】 仏像の魅力を探る  (全5回)	文星芸術大学 総合造形専攻 地域創生分野 准教授 大澤 慶子	6/1～ 7/6	(30) [119] 50	48 (96.0%)	仏像の誕生と仏像の種類とかたちについて、仏教の歴史、伝来の経路との中で受けた文化の影響による仏像の変化などを、地図や写真を使い解説された。「如来」「菩薩」「天部・明王」に分け、特徴を布なども使い詳細に説明がなされた。紹介された仏像が所蔵されているお寺の情報は、遠方ばかりでなく県内のお寺も多く、鑑賞に訪れる際に役立ち受講生の更なる学びに繋がるものと思われる。また、東京国立博物館はじめ、催事情報や見どころなど詳しい説明があり、受講生にとってはコロナ後を見据えて予定を立てる楽しみに繋がった。	・講師の丁寧な説明により仏像に興味をわいて、身近なものと感じられた。 ・今まで如来と菩薩以外の明王と天部について知らなかったが、今回の講座で種類と役割について理解できた。 ・美術の分野の裾野が広いことが今さらながら感じた。 ・コロナ禍で家に閉じこもっている毎日で久しぶりの講座でリフレッシュした。 ・ただ手を合わせて拝む仏像から、良く見比べて鑑賞しようと思いが変わった。
III	ロマンとミステリー 前方後円墳の魅力 ～3世紀から6世紀に造られた約20万基の古墳 群の謎に迫る！～  (全8回)	新潟大学 名誉教授 橋本 博文 邪馬台国の会 会員 高橋 昭夫 群馬県立歴史博物館 特別館長 右島 和男 宇都宮市教育委員会事務局文化課 主幹 今平 利幸 國學院大學栃木短期大学 講師 鈴木 一男 公益財団法人とちぎ未来づくり財団 埋蔵文化財センター 副主幹 内山 敏行	5/25～ 7/13	(30) [79] 53	50 (94.3%)	今、全国規模で関心が高まっている前方後円墳について、古代日本の古墳群から始まり、「毛野国」と呼ばれた栃木県や群馬県にある様々な古墳を、大学教授、博物館長、自治体職員等、それぞれの立場から具体的に説明していく講義であった。全8回の講座をそれぞれの専門分野の6人が担当し、ヤマトから毛野国へという時代の流れと全国から地域へと展開し、前方後円墳をテーマに時空を越えた旅を、受講生は味わっていたようだ。講義は配布資料とプロジェクターによる映像を使用した。講師持込のチラシ等は分かりやすく効果的であった。	・内容が濃密で時間不足の講義があり、非常に残念だった。またの機会を設けていただけるとありがたい。 ・わくわくして受講をしていたが、あまりに難しくロマン、ミステリーを感じることはできなかった。 ・栃木県内には想像している数や大きさとは考えられないほどの規模のものがあるのは驚いている。 ・70代ようやく自分自身のために使える時間ができたので、色々なことを知りたい、学びたいと思っている。理解力、身体的劣化があるので、難しい事を易しく教えてくださいとありがたい。
III	【R2前期】 再入門！たのしい科学 ～予測し実験で確かめる！これであなたも科学者になれる～  (全7回)	仮説実験授業研究会 全国代表委員 湯澤 光男	5/22～ 7/3	(30) [93] 27	26 (96.3%)	講師が毎回大量の実験器具を持ち込み、「原子」「電磁波」「宇宙」「量子力学」などのテーマで、予想を立てさせた上で、目の前で実験を行い解説するという手法は受講生の瞳目を集めた。誰もが、習ったことはあるがよく解らないテーマが鮮やかに目の前の実験で明らかになり、受講生は驚きと興奮を味わう講座となった。第5回では、まち針(地球)と戸外(50m先)のビーチボール(太陽)で、大きさと日食、月食の仕組みを学ぶなど、講師の工夫と準備と何よりも熱意が、受講生の満足度に大きく貢献した講座となった。	・実験が多かったのもとても理解しやすかった。 ・講師の事前準備の程度に驚いた。 ・忘れていたことを実験を中心に思い起こさせてもらった。 ・中学生に戻ったような楽しい時間だった。 ・今さらながら驚くことが多く、土曜日が楽しみだった。 ・太陽の熱の勉強もしたが、先生の熱量も十分感じた講座だった。 ・まだまだ身近で素朴な疑問が沢山あり、続編があればまた受講したい。
【コース名】 I 郷土を愛する「宇都宮学」コース II 今を読み解く現代社会コース III 暮らしを彩る文化・教養コース				募集定員	210人	【総合的な評価】 今回は、新型コロナウイルス感染防止の観点から定員を一律30名に抑え、通常より1講座多い7講座(中止となった令和2年度前期4講座含む)を実施した。7講座中5講座は定員を大幅に超える申込みがあり、キャンセルを見込むなど可能な限り定員を増やし受講決定をした。新型コロナウイルス感染防止の観点から、3密を回避するなど各種の感染防止策を講じ実施することができた。 コロナ禍ではあったが、各講座とも欠席者やキャンセルは少なく修了率は例年と同水準の92.9%となった。各講座とも受講者の高度で専門的な学習ニーズに応え、知的好奇心を刺激する企画内容であったことから、満足度の高い講座提供ができたと推察される。 【今後の課題】 引き続き、コロナ禍でも安心して受講できる環境整備等の確保	
				応募者数	452人		
				受講者数	268人		
				修了者数	249人		
				修了率(修了者/受講者)	92.9%		

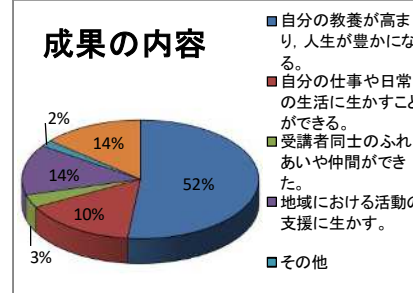
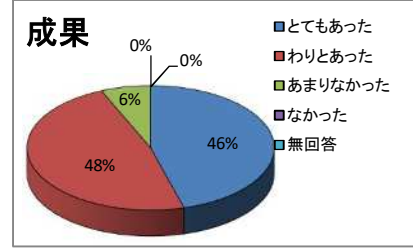
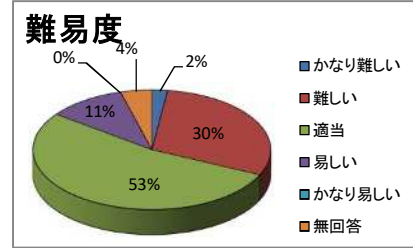
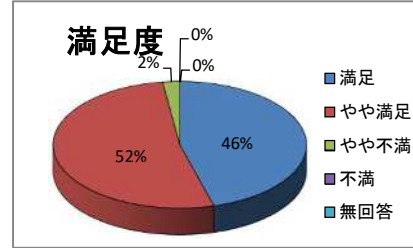
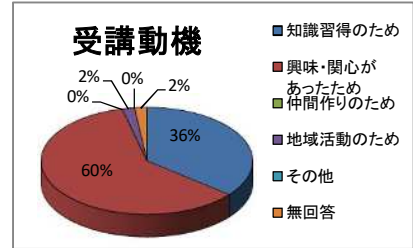
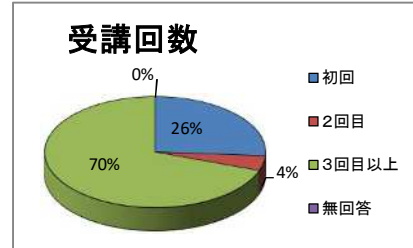
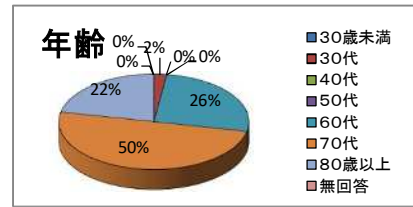
※修了者数は、4分の3以上の出席者

令和3年度宇都宮市民大学前期講座アンケート

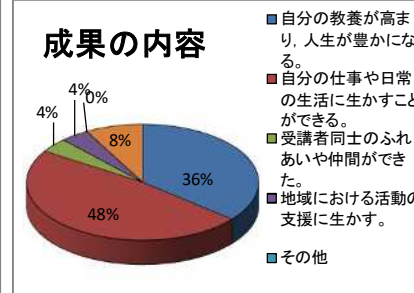
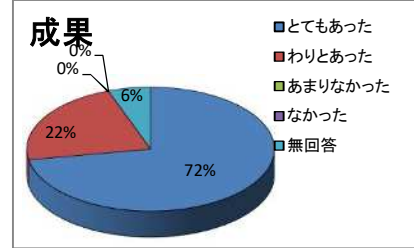
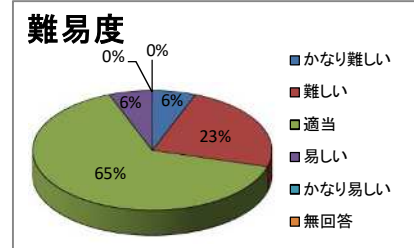
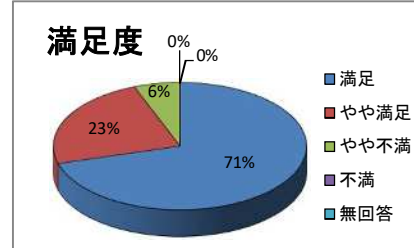
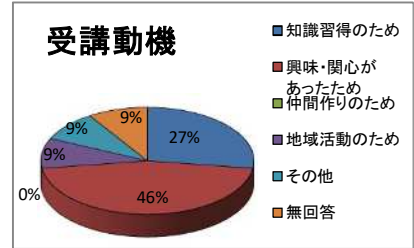
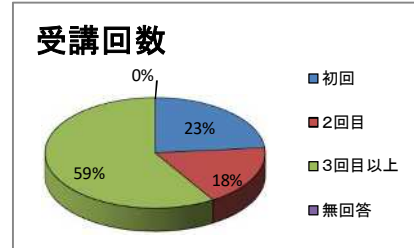
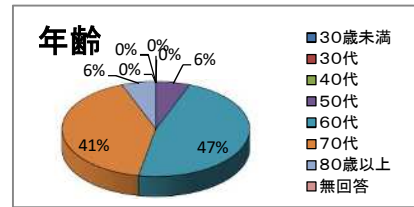
1 受講者数	268 名
2 アンケート回答数	215 名
3 アンケート回収率	80.2%



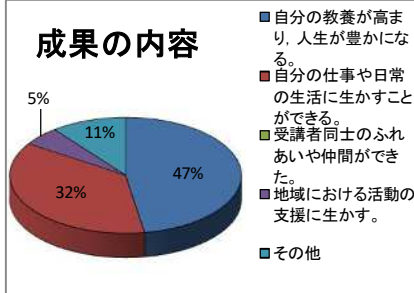
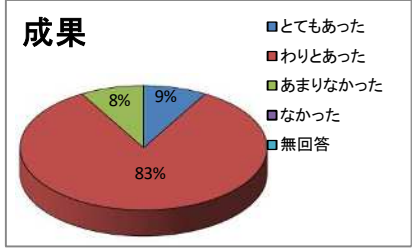
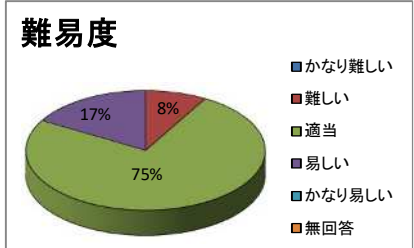
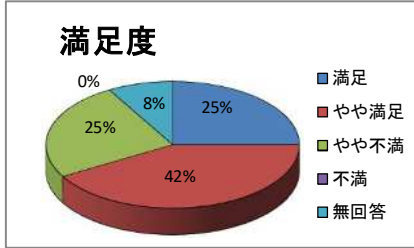
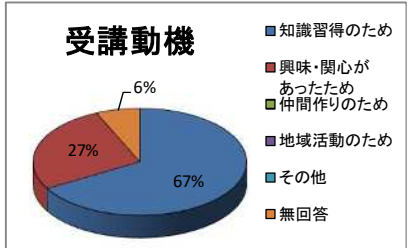
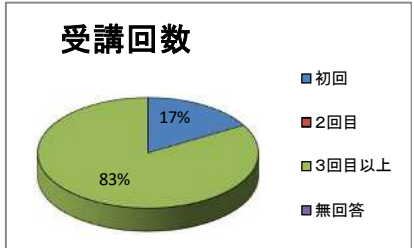
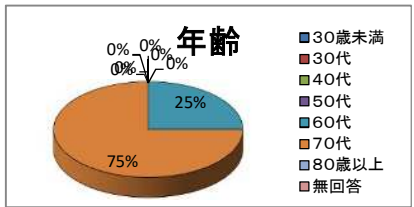
①名城に名将有り！下野の古城



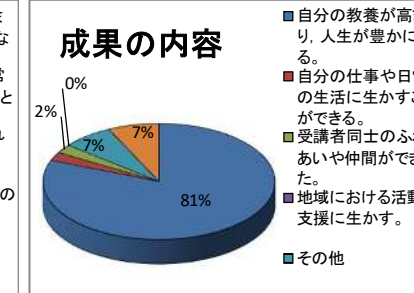
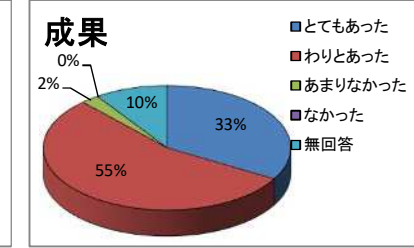
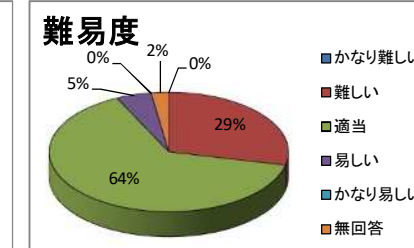
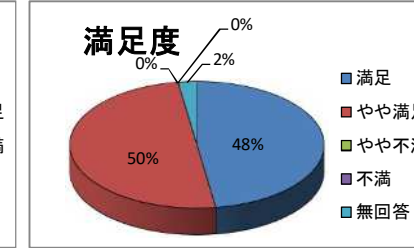
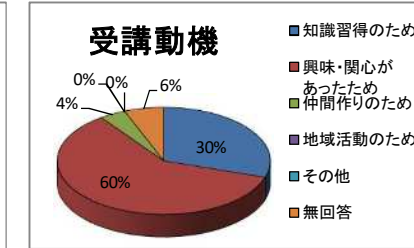
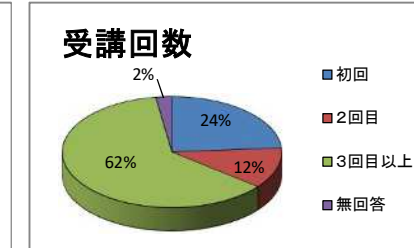
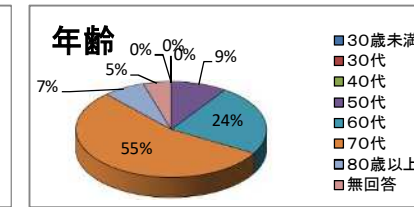
②栃木県のはやり病・伝染病・感染症



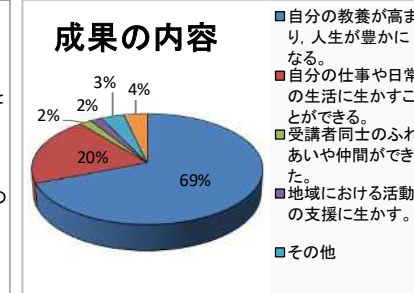
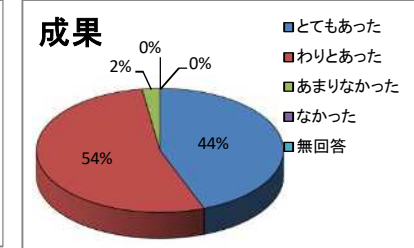
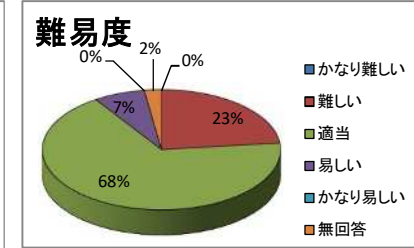
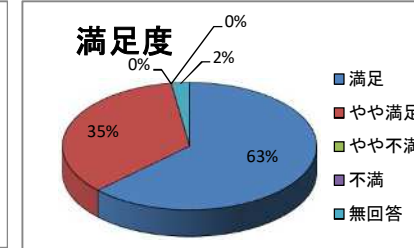
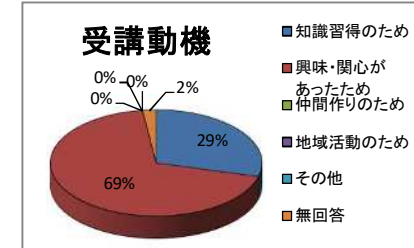
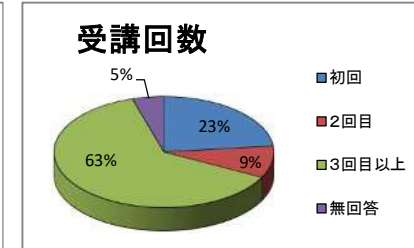
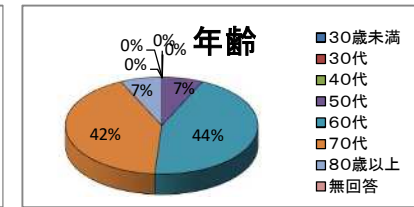
③これからの長寿・共生・循環型の社会を生きるために



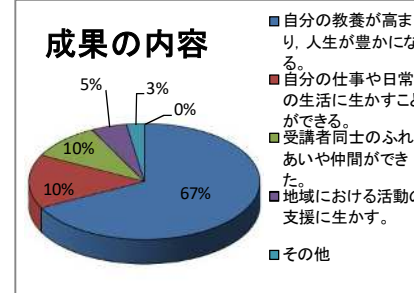
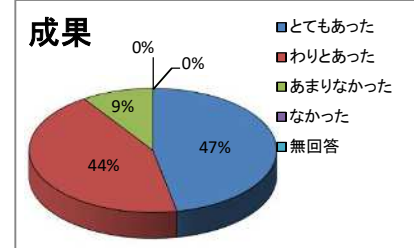
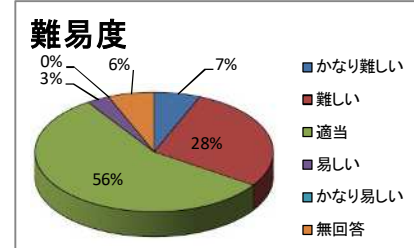
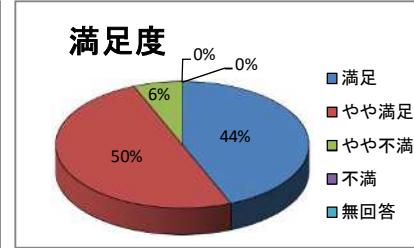
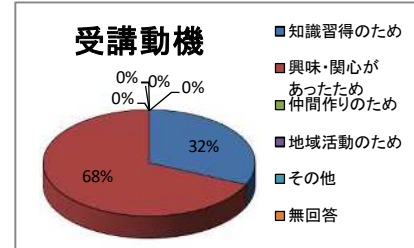
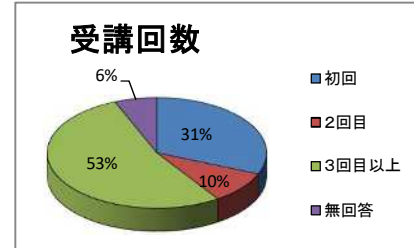
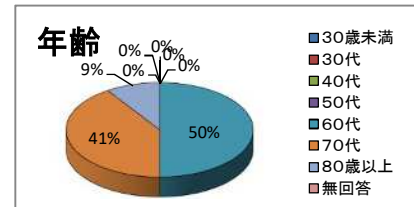
④信長・秀吉・家康



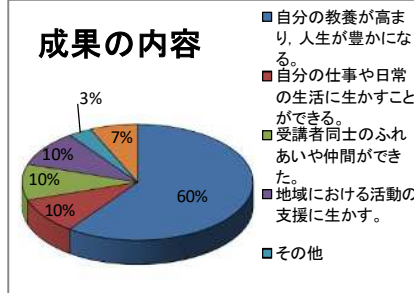
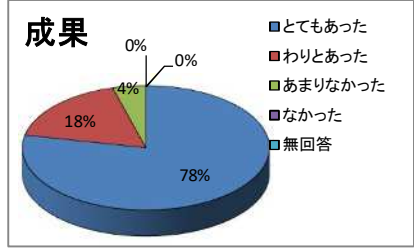
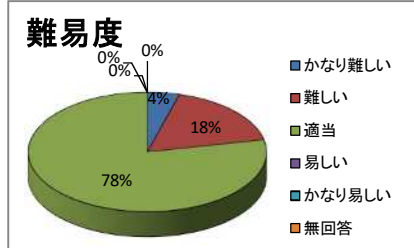
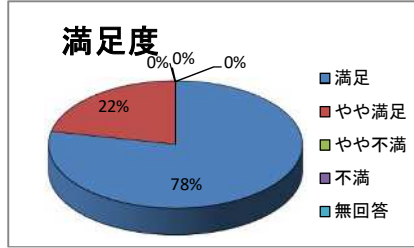
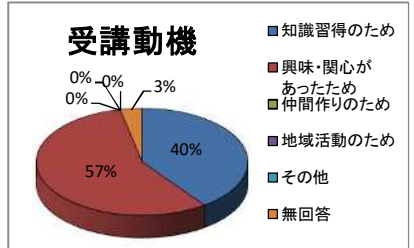
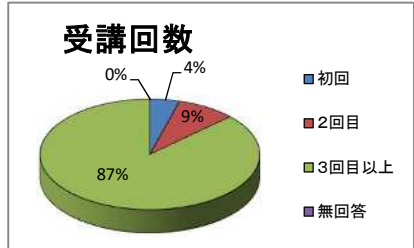
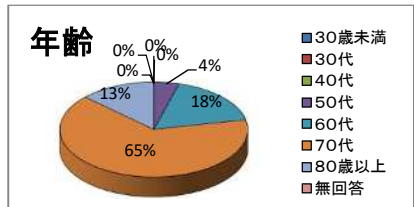
⑤仏像の魅力を探る



⑥ロマンとミステリー



⑦再入門！たのしい科学



## 令和3年度宇都宮市民大学後期講座の実施について

講座企画・運営ボランティアスタッフ企画講座を6講座(No.1～No.3, No.5～No.7), 大学連携講座(帝京大学 宇都宮キャンパスNo.4)を実施する。

なお、開講式は、各専門講座の初回冒頭に、「学長メッセージ」DVD(2分程度) 放映や企画者の紹介などを行う。

また、実施にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、3密を回避するなど受講環境の安全を図る。

【別紙1】後期パンフレット, 【別紙2】受講決定通知書添書(案)

ア 開催期間 令和3年9月～10月  
イ 開催回数 6回～8回  
ウ 定員 30名(一律)

## 【後期専門講座内容】

No.	講座名	開催期間 (開催曜日・時間帯)
1	I 郷土を愛する「宇都宮学」コース (全7回)【R2前期】 宇都宮を流れる鬼怒川の昔と今 ～鬼怒川物語～	9月7日～10月19日 (火曜日 午前)
2	I 郷土を愛する「宇都宮学」コース (全7回) わざわざ来るな ～とちぎの災害にまつわる風習・信仰～	9月10日～10月22日 (金曜日 午前)
3	II 今を読み解く現代社会コース (全7回) おとな世代の「こころ」と人間関係	9月9日～10月28日 (木曜日 午前)
4	II 今を読み解く現代社会コース (全6回) 帝京大学で学ぼう!最先端研究紹介セミナー (会場:帝京大学 宇都宮キャンパス) 【帝京大学 宇都宮キャンパス連携講座】	9月10日～10月15日 (金曜日 午後)
5	III 暮らしを彩る文化・教養コース (全7回) どうやって生まれた?動物たちのスゴ技 ～生き物たちの進化とサバイバル戦略を謎解く～	9月6日～10月25日 (月曜日 午前)
6	III 暮らしを彩る教養コース (全7回) ここが変わる!日本の縄文時代 ～8,000年前の日本にすでに豊かな物質文化と精神文化が 存在していた～	9月6日～10月25日 (月曜日 午後)
7	III 暮らしを彩る文化・教養コース (全8回) 鬼先生の人間探検講座 ～文化人類学の目で人類最大の謎に迫ってみよう～	9月7日～10月26日 (火曜日 午後)

※ 講座の実施会場は、人材かがやきセンター研修室(中央生涯学習センター5階) No.4を除く

※ 午前⇒10時から正午, 午後⇒2時から4時

## 令和3年度宇都宮市民大学公開講座について

昨年度は、新たな手法による公開講座の初回として、笠井信輔氏（元フジテレビアナウンサー）による講演会（定員500名）の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、多くの市民が集まる講演会の開催は中止し、代替事業として、とちぎテレビによる特別番組を放映した。

令和3年度は、市民大学の更なる周知及び認知度向上を図るため、著名な講師を迎え、下記のとおり実施する。

- (1) 実施日 令和4年2月19日（土）  
時間：10：00～又は14：00～（調整中）
- (2) 会 場 宇都宮市文化会館小ホール
- (3) 受講料 1,000円 （予定）
- (4) 内 容 各分野の第一人者（著名人等）による講義等 裏面参照
- (5) その他 新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たない状況であることから、今後も情勢を見極めつつ、「国・県イベント開催の制限の緩和」等を参考に、公開講座の実施の可否を判断する。
- (6) 今後のスケジュール
  - 12月 広報うつのみやにて周知・募集
  - 1月 受講決定通知発送,  
⇒ 受講料の納付確認後、チケット発送
  - 2月19日 公開講座実施

## 【講師候補】

- ◎ 高藤 直寿（下野市出身）
  - ・柔道選手
  - ・東京オリンピック 柔道 60 キロ級金メダリスト
  
- ◎ 黒後 愛（宇都宮市出身）
  - ・バレーボール選手
  - ・東京オリンピック出場
  
- ◎ 隈 研吾
  - ・建築家
  - ・宇都宮駅東口で建設中のコンベンション施設のデザインを監修
  
- ◎ 吉川 真（栃木市出身）
  - ・小惑星探査機「はやぶさ 2」のミッションマネージャ
  - ・宇宙航空研究開発機構（JAXA）准教授
  
- ◎ 渋澤 健
  - ・日本の資本主義の父・渋沢栄一の5代目子孫，実業家
  - ・渋沢栄一は近く1万円札の顔に
  - ・令和3年大河ドラマ「青天を衝け」
  
- ◎ 三谷 幸喜
  - ・劇作家，脚本家，演出家
  - ・令和4年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」も脚本を担当
  
- ◎ 八津 弘幸（栃木市出身）
  - ・脚本家，漫画原作者
  - ・朝ドラ「おちょやん」（2020年後期放送）や「半沢直樹」などの脚本を担当
  
- ◎ 庵野 英明
  - ・アニメーター，映画監督
  - ・令和3年「新世紀エヴァンゲリオン」シリーズ完結
  
- ◎ 紗栄子（大田原市在住）
  - ・モデル，タレント
  - ・大田原で牧場「NASU FARM VILLAGE」経営



## 令和 4 年度宇都宮市民大学の実施について（案）

### ◎ 趣 旨

令和 4 年度宇都宮市民大学の実施について協議するもの

#### 1 令和 4 年度市民大学の実施について

##### (1) 開催方針

市民大学事業については、本市の社会教育分野における基本計画である「第 3 次宇都宮市地域教育推進計画」に基づき、高等教育機関との連携による高度で専門的な学習ニーズに応えるとともに、「生涯学習センター主催講座」や「人材かがやきセンター主催講座」との差別化を図り、本市の生涯学習事業の中で唯一の有料講座として、心豊かに市民生活を送るための教養講座や、郷土愛を育む地域の文化・歴史講座など、市民の知的好奇心を満たし、生きがいや精神的な豊かさなど市民生活に潤いを与える学習機会の提供に重点的に取り組む。

令和 4 年度事業については、これまで定員超過による抽選で落選した方々から、同様の講座実施を強く希望する声が多かったことから、リクエスト講座として、令和 3 年度に人気のあった講座 1 枠を事務局企画枠を活用して実施し、受講者満足度の更なる向上を図る。

なお、新型コロナウイルスワクチン接種が進むことなど、状況の改善が想定されることから、定員の上限を 50 名に引き上げるとともに、引き続き、感染拡大には十分配慮し、「新しい生活様式」を踏まえた受講環境の整備に努めていく。

##### (2) 公開講座

公開講座は、多くの市民が一堂に会した学習を提供し、受講者の学習意欲の高揚や市民大学の周知を図ることを目的に実施する。

- ① 実施時期 令和 5 年 2 月頃（後期講座閉講後）
- ② 会 場 宇都宮市文化会館小ホール等
- ③ 講 師 著名人等
- ④ 受講料 500 円～1,000 円程度

公開講座実施の詳細については、令和 4 年 8 月に開催予定の運営協議会において決定する。

##### (3) 専門講座の実施方法等

専門講座のコース設定は令和 3 年度同様 3 コースとする。なお、講座実施数については、定員を 50 名程度に引き上げることを前提に、例年同様 12 講座とする。

また、開講式は各専門講座毎に実施する。

## ① コース設定（3コース）

### ア 郷土を愛する「宇都宮学」コース

郷土「宇都宮」の歴史や文化、産業、自然、民俗など「宇都宮」の特質や魅力について学び、「宇都宮」に誇りや愛着をもつための講座

※開催回数の半数以上が宇都宮（人・物・歴史等）に関する内容であることを条件とする。

### イ 今を読み解く現代社会コース

個人や社会を取り巻く環境がめまぐるしく変化する現代社会において、より賢く快適に暮らしていくため、社会の流れを読み解き、暮らしや地域コミュニティに活かしていく知恵を学ぶ講座

### ウ 暮らしを彩る文化・教養コース

芸術・文学・科学のほか、先進技術など広範で学術的なテーマから深い教養を身に付け、潤いのある生活を送るための講座

※宇都宮市以外の地域をテーマとした文化・歴史などが対象となる。

## ② 講座実施数（12講座予定）

### ア 前期（5月下旬～7月） 6講座

・内訳 Vスタッフ企画 - 5講座，大学連携 - 1講座

### イ 後期（10月中旬～12月初旬） 6講座

・内訳 Vスタッフ企画 - 4講座，大学連携 - 1講座，事務局枠 - 1講座

## ③ Vスタッフ企画講座の選考方法

### ア 募集要項

⇒ 別紙3参照

### イ 選考会の実施

選考の透明性を確保し客観的な視点から講座を選考するため、専門的な知識を有する委員による講座企画運営選考委員会を実施する。別紙4

なお、Vスタッフのスキルアップと、講座企画選考委員会の実施状況の周知・理解を目的として、Vスタッフの希望者に対して、選考委員会の傍聴及び模擬審査への参加を認める。

### ウ 企画講座の決定

講座企画運営選考委員会の選考結果を踏まえ、運営協議会において決定する。

## ④ 受講者の決定方法

### ア 申込者が募集定員以内の場合

・申込者全員を受講者として決定する。

### イ 申込者が募集定員を超えた場合

・講師等との調整により、定員の増員について検討を行う。

・次の人を優先的に抽選を行い受講者を決定する。

① 今回初めて市民大学に申込をした人

② 前回申込をしたが抽選の結果落選となり、講座をひとつも受講できなかった人  
(なお、リクエスト講座については、抽選による落選者を優先する)

③ 今回複数の講座に申込をしており、その講座すべてが抽選となる人

#### ⑥ 館外学習の実施について

これまで、学習テーマや内容に応じて、バスによる館外学習を実施してきたが、令和5年度についても、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況であり、3密回避の観点からバスでの長時間移動は難しいことから、令和3年度と同様に館外学習は実施しない。

#### (4) 大学連携

専門講座における市内6大学との連携講座を、引き続き実施する。

令和5年度 前期 文星芸術大学 (予定)

後期 作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 (予定)

#### 【参考】

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
宇都宮短期大学					○			
宇都宮大学						○		
文星芸術大学	中止 →	○					○	
作新学院大学		○						○
宇都宮共和大学			○					
帝京大学				○				

#### 2 今後のスケジュール (予定)

8月下旬 第1回講座企画・運営ボランティアスタッフ連絡会議の開催

・令和5年度宇都宮市民大学専門講座企画募集要項等の説明

10月中旬 宇都宮市民大学専門講座企画募集の締め切り

・書類審査

11月上旬 宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会の開催

・プレゼンテーション審査及び企画選考

11月下旬 第3回宇都宮市民大学運営協議会の開催

・実施企画の決定

# 令和4年度宇都宮市民大学専門講座企画募集要項（案）

## I 令和4年度市民大学の実施について

別紙 参考 「令和4年度宇都宮市民大学の実施について」参照

## II 市民大学専門講座の募集概要

次のとおり、専門講座の企画を募集する。

### 1 募集分野（コース）

#### (1) 郷土を愛する「宇都宮学」コース

（※開催回数の半数以上が宇都宮（人・物・歴史等）に関する内容であるもの）

#### (2) 今を読み解く現代社会コース

#### (3) 暮らしを彩る文化・教養コース

### 2 募集講座数

各コース合わせて9講座

### 3 応募資格

宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ（Vスタッフ）の個人またはグループを対象とする。

### 4 応募方法

#### (1) 応募受付期間

令和3年9月17日（金）から10月1日（金）

#### (2) 提出書類

- ① 令和4年度宇都宮市民大学専門講座応募申込書
- ② 令和4年度宇都宮市民大学専門講座企画書（様式1）
- ③ 令和4年度宇都宮市民大学専門講座企画書（学習プログラム）（様式2）

#### (3) 提出先

宇都宮市民大学事務局（人材かがやきセンター内）

#### (4) 提出方法

直接，メール，郵送

※ 応募書類の返却は不可

※ データが必要な方は、[college@city.utsunomiya.tochigi.jp](mailto:college@city.utsunomiya.tochigi.jp) までご連絡ください。

## 5 講座決定までの流れ

### (1) 予備審査の実施

応募された企画を対象に、事務局による応募書類の確認を行う。

### (2) 宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会の実施

書類審査を通過した企画は、令和3年1月上旬に、選考委員会によるプレゼンテーション審査を実施する。講座企画運営選考委員会の日程については、応募書類提出後に改めて通知する。

### (3) 宇都宮市民大学運営協議会における審議

上記選考委員会の審査結果を運営協議会に報告し、審議の上、採用する企画を決定する。選考結果については、応募者全員に通知する。

## 6 講座企画者の役割

採用された講座の企画者は、講座企画運営選考委員会の意見を取り入れるとともに、事務局担当者と協力して、講座内容のより一層の充実を図っていく。

また、講師との調整、広報紙等の校正協力のほか、講座当日の会場設営・進行・後片付けなど講座開催に関する業務を、事務局職員等と協力して主体的に担う。

## 7 講座企画上の留意点

- (1) 講座回数は6～7回を標準として、8回を限度とする。
- (2) 1回の講座時間は2時間とする。
- (3) 定員は、50名を上限とする。
- (4) 開催時期については、前期講座は5月下旬～7月、後期講座は10月中旬～12月上旬とし、同じ曜日、同じ時間帯を原則とする。
- (5) 講座開催会場は、人材かがやきセンター研修室（中央生涯学習センター5階）を使用すること。それ以外の会場を使用する場合は、企画書に必要性を併せて明記すること。
- (6) 受講料は、開講時に事務局が徴収する。（1回500円×講座回数分）
- (7) 受講料のほかに材料費やテキスト代が想定される場合は明記すること。
- (8) 令和4年度も託児サービスを実施しない。
- (9) また、営利目的や特定の政党・候補者の利害に関すること、特定の宗教・教派・宗教・教団を支援する内容は認められない。
- (10) 講座の講師予定者と事前に連絡や相談などを行う場合には、講座は企画の段階であり、講座開催が確定していない旨を説明し、講師に誤解を与えることのないよう留意すること。
- (11) 講師謝金については、「市民大学における講師謝金」に基づき支出している旨を説

明する。

なお、講師謝金については、事務局で判断することから、具体的な謝金等については提示しないこと。(交通費も同様とする。)

- (12) 実技やワークショップについては、新型コロナウイルス感染防止に配慮し、席の移動や受講生同士の密接などを伴わない手法とすること。

## 8 その他

- (1) 募集期間中における応募状況や他の企画内容についての問い合わせは不可とする。
- (2) グループ企画については、通知等をグループ代表者に一括して送付する。
- (3) 令和4年度の講座数は、Vスタッフ企画9講座、大学連携講座2講座、事務局企画1講座とする。

### 【大学連携】

令和3年度 宇都宮共和大学，帝京大学

令和4年度（予定）宇都宮短期大学，宇都宮大学

- (4) 採用された企画には、企画運営に必要な費用を講座企画運営費として実費を交付する。（予定）（令和3年度実績：1講座2.5万円を上限）
- (5) 募集要項に記載のない事項については、事務局に確認すること。
- (6) 企画書（様式1）及び企画書学習プログラム（様式2）について、データ提供を希望する場合は、事務局に申し出ること。

## 令和4年度宇都宮市民大学専門講座応募申込書

令和3年 月 日

別紙の企画書（様式1）及び企画書学習プログラム（様式2）のとおり、  
令和4年度宇都宮市民大学専門講座企画募集に応募いたします。

代表者 氏名	
住所	〒 宇都宮市
連絡先等	(自宅) 028 ( ) (FAX) 028 ( ) (携帯) - - (Email)
備考	

※ 個人情報については、宇都宮市民大学事業に使用させていただきます。  
目的以外には使用いたしません。

※ 御不明な点は、生涯学習課（632-2648, 6332）担当：高田まで  
お問い合わせください。

令和4年度宇都宮市民大学専門講座企画書

様式 1

企 画 者	(グループ名がある場合は名称) あさひ			
	企画者氏名(養成講座修了年度) ※グループ代表者に◎印, 企画代表者に○を付ける			
	①	栃木 太郎 (平成13年度)	5	横川 明子 (平成19年度)
	2	宇都宮 花子 (平成13年度)	6	養成講座修了年度を記入 (平成 年度)
	③	平石 次郎 (平成14年度)	7	(平成 年度)
	4	清原 (平成17年度)	8	(平成 年度)

グループ代表者に◎を付ける

1	コ ー ス 分 類	<input checked="" type="checkbox"/> 郷土を愛する「宇都宮学」コース ※開催回数の半数以上が宇都宮(人・物・歴史等)に関する内容であるもの <input type="checkbox"/> 今を読み解く現代社会コース <input type="checkbox"/> 暮らしを彩る文化・教養コース	
		当てはまるコースの <input type="checkbox"/> を塗りつぶす	
2	講 座 名 サ ブ タ イ ト ル	「今こそ陶芸から学ぶ」 ～世界, 地域, 教育の視点から陶芸について考える～	
3	希 望 期 間	○第1希望 ( ① )	① 前期 (5月下旬～7月)
		○第2希望 ( × )	② 後期 (10月中旬～12月上旬)
4	希 望 曜 日 時 間 帯	第1希望 火曜日 時間帯 ( ① )	① 午前 (午前10時～正午)
		○第2希望 月曜日 時間帯 ( ② )	② 午後 (午後2時～4時)
		○第3希望 木曜日 時間帯 ( ① )	③ 夜間 講座の開催曜日を第3希望まで記入 (30分 時30分)
		※水曜日の午前, 午後は一般研修等により研修室は使用できません。	
5	定 員	<input type="checkbox"/> 30名 <input type="checkbox"/> 50名 令和4年度は, 上限50名	
6	内 容	全 7 回 詳細は別紙様式2学習プログラムのとおり	
7	会 場	人材かがやきセンター研修室	



8	受講料	3,500円(7回×500円) 実費徴収 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (目的 陶芸実習材料費 金額: 1,000円) <input type="checkbox"/> 無
9	収支 (見込み)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">講座の回数を記入</div> <p>○ 受講料収入: 105,000円 (30名×3,500円)</p> <p>○ 講師謝金: 210,000円 ※講師謝金一覧に基づく,概ねの謝金額(交通費も含む)</p> <p>【算出根拠】  <u>全回・大学教授クラス 30,000円×7回</u></p> <hr/> <p>○ 差し引き: ▲105,000円</p>
10	スタッフ	企画者 5人 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px;">令和3年度は、運営ボランティアの募集はしない</div>
11	その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陶芸実習を1回(1日)予定</li> <li>・期間については,予定している講師の都合により「前期」にしか設定できません</li> </ul>

講座に係る収支を記載

講座の回数を記入

令和3年度は、運営ボランティアの募集はしない

## 令和4年度宇都宮市民大学専門講座企画書（学習プログラム）

講座名 サブタイトル	今こそ陶芸から学ぶ ～世界、地域、教育の視点から陶芸について考える～
企画の目的 必要性・効果	この講座は、実は「社会貢献活動」へのきっかけ作りを目的とする。東日本大震災以降、強く必要とされている、「人と人の絆」。現在も、被災地に対するボランティア活動などの取組みが多く行われている状況であり、「絆」の再構築を契機として、社会教育のあり方を見直す契機であるとも言われている。
企画した講座の趣旨（ねらい）や全コマ受講した後の効果を記入。また、特にターゲットとする受講者等がある場合には、その旨も記入。	この企画では、「陶芸」という文化的・趣味的な講座を前面に出しながらも、各講義の中で、陶芸を例示とした社会貢献活動に対する学びや、「ざぶん展」に参画することで、『「地域貢献活動」の経験』と『「絆」の構築』に自然と関わっていくこととなり、また、受講された方々の経験の伝承などをおして、その家族や友人を含め「地域活動」への参加や「社会貢献活動」への参加にも繋がるものと考え。
講座概要	陶芸の歴史は人の営みと共に古く、作陶技術は、時代を経て変遷し、生活に身近な器から心を豊かにしてくれる芸術作品までと、私たちとのかわり方も幅広いものとなり、地域の観光振興や文化交流などに貢献する重要な地域資産ともなっている。 本講座では、国際的な視点から陶芸の歴史や文化を学んでいく。 多くの被災を受けながらも、今に受け継がれ進化を続ける、陶芸文化の力強さとその魅力に、グローバルな視点で注目していく。 また、文星芸術大学が取り組んでいる、陶芸を通じた特別支援教育現場との交流・地域活動等から、「陶芸の力が育む『人づくり』」や「陶芸の力が生み出した『ユニバーサルデザイン』」など、陶芸がもたらす様々な効果・効力を事例から学び、「陶芸」の今後の更なる可能性について学んでいく。
実施に伴う課題・対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ざぶん展」のバックヤード見学などがあることから、安全確保に十分に努める必要がある。実施に際しては、十分な事前の連絡調整、会場の下見などを事務局とともに実施することにより対応する。また、運営ボランティアの人数確保にも努める必要がある。</li> <li>・陶芸の実習を伴うことから、実習費が高額にならないよう、効果的・効率的な実施内容について、講師と調整・検討していく。</li> </ul>
アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの方に人気がある講師から学べることから、定員を超える申込が期待できる。</li> <li>・「陶芸」に興味をもって参加した方に対し、講義や作陶による充足・満足感などの、いわゆる「個人の要望」に応えることはもとより、陶芸を通じた「人との絆づくり」や「社会貢献活動への直接参加」により、地域活動を積極的に盛り上げる人材の育成も行うことから「社会の要請」にも寄与する、大変有意義な講座であると考えている。</li> </ul>

講座の概要を明記してください(パンフレット参照)

コマごとの学習の「ねらい」について簡潔に記入

回	期日	テーマ	ねらい	
1	11月1日 (火)	戦乱と陶の歴史 (西洋と東洋の境界線～トルコの風～)	トルコの陶芸文化の力強さとその魅力について学ぶ。	
		内容	学習方法	講師
	月 日	日本と同様に地震の多いトルコでは、陶器も多くの被災を受けている。しかし、長い年月をかけて伝統を受け継ぎ、進化を続けている様子を講師の撮影した映像を交えながら学ぶ。	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技等 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input type="checkbox"/> 他 ( )	○○大学 教授 ○○○○ 氏
		テーマ	ねらい	
		内容	具体的に肩書きがわかるよう記入 【例】 ・○○○審議委員会委員 ・△△病院 理学療法士 ※未定の場合は、○○専門家、大学教授クラス等と記入	
			<input type="checkbox"/> ワークショップ <input type="checkbox"/> 他 ( )	

コマごとの講義内容について、簡略に記入

具体的に肩書きがわかるよう記入  
【例】  
・○○○審議委員会委員  
・△△病院 理学療法士  
※未定の場合は、○○専門家、大学教授クラス等と記入

## 「審査項目」と「審査基準」

(プレゼンテーション審査マニュアルより抜粋)

審査項目は、下表のとおりとする。

### 1 審査項目

(1)	社会ニーズ	社会の変化や要請，地域の特性や文化など，本市のまちづくりやコミュニティの発展，あるいは市民の郷土理解に資する社会的な視点やねらいが盛り込まれているか。
(2)	市民ニーズ	市民が求める高度で専門的な学習ニーズをとらえているか。
(3)	構成力	設定された講座のねらいに沿った各回の展開や組み立てがされているか，また実習やワークショップなど，学習効果を高めるための工夫がされているか。
(4)	運営力	適切な講師の想定，事前準備や講座運営に対する考え方など，確実に講座を運営していくための体制が整っているか。 <u>ただし，企画応募条件において，講師の確保までは求めないこととしているため，想定講師の受諾については審査に加味しない。</u>
(5)	発展性	講座を契機とするネットワークの形成，学んだことを実践し，生かせる仕組みづくりや導入，リーダー養成に資するスキルの習得など，受講者の行動や考え方の変化を促す効果があるか。

### 2 審査基準

点数	審査基準
5	とても優れている
4	優れている
3	やや優れている
2	やや劣っている
1	劣っている

## 宇都宮市民大学における講師謝金

講座等における講師並びにこれらに準じるものに対する謝金の基準単価は、特別な場合を除き、次の表を上限額とする。

区 分	講師等の資格	時 間	基準額（円）
第1類	(1) 大学教授，准教授，常勤講師 (2) 弁護士 (3) 医師 (4) 特に高度な専門的知識を有する者	2時間	30,000
第2類	(1) 大学非常勤講師，助教 (2) 博物館学芸員 (3) 高度な専門的知識を有する者	2時間	20,000
第3類	(1) 教職員 (2) 各種専門学校の教師 (3) その他専門的知識を有する者	2時間	12,000

※ 具体的な講師謝金等については，事務局が決定し講師へ通知する。